

日医ニュース

2018. 10. 5 No. 1370

日本医師会
Japan Medical Association

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
電話 03-3946-2121(代)
FAX 03-3946-6295
E-mail www.info@po.med.or.jp
http://www.med.or.jp/

発行所
毎月2回 5日・20日発行 定価 2,400円/年(郵税共)



トピックス

- 中医協 医療機関等における消費税負担に関する分科会 … 3面
- 定例記者会見 … 4面
- 南東ヨーロッパ医師フォーラム第9回国際医学会議に出席 … 5面

平成30年度第1回都道府県医師会長協議会

災害医療対策の一層の充実や 控除対象外消費税問題の解消等に努める考えを示す

横倉会長

協議会は小玉弘之常任理事の司会で開会。冒頭あいさつした横倉義武会長は、7月の西日本豪雨を始め、台風21号及び北海道胆振東部地震で被害に遭われた方々へのお見舞いと被災地支援の尽力に対して感謝の意を示した上で、「わが国はその地理上、遺憾ながら今後



平成30年度第1回都道府県医師会長協議会が9月18日、日医会館小講堂で開催された。当日は、「医師の働き方改革」「JMAT」「消費税問題」など、9都道府県医師会から出された多岐にわたる質問並びに要望に対して、担当役員から回答した他、日医から「控除対象外消費税問題解消のための新たな税制上の仕組みについての提言」「准看護師試験事務の委託」「次世代医療基盤法に対する日医の取り組み」について報告を行い、理解と協力を求めた。

会長あいさつ

も多くの自然災害に見舞われる危機を有している」と指摘。その備えに当たっては、平時からの災害医療の教育・研修体制の整備やかかりつけ医療機能を中心とした地域連携の強化が不可欠であり、日医としても10月に開催される「防災推進国民大会2018」でこの

セッションの提供や日医から取り上げられるべき課題等を通じて、災害医療対策の一層の充実に努めていくとした。

控除対象外消費税の問題については、三師会・四病院団体協議会で「控除対象外消費税問題解消のための新たな税制上の仕組みについての提言」を取りまとめたことを改めて報告。「今後は、こ

の新たな仕組みが平成31年度税制改正に反映されるよう、医療界が丸となり要望活動を展開していきたい」と述べた。

また、この問題に関連し、診療報酬による補てん状況の集計ミスについて、厚生労働省保険局長に対し、厳重な抗議と速やかな対策等の申し入れを行ったことに言及。経過を見守りながら、厚労省に対して再発防止を求め細やかな対応を求めていくとした。

医師の働き方改革に関しては、議論が本格化するに当たり、長時間労働の是正を進めることを前提に、現行法令の枠内における「特例の在り方」だけでなく、必要であれば、必ずしもその枠組みにはこだわらないことが必要であるとし、今後も医師という特殊な職種の仕事方を訴えつつ、勤務医の労働法制の構築も視野に入れながら、医師の働き方に合った、より良い制度を目指していく考えを表明。都道府県・郡市区等医師会に対しては、予防と健康づくりに向けた活動等を通じて、医師の働き方改革の議論を後押ししてほしいと要請した。

その他、横倉会長は、

「日医が考える国民視点に立った医療を実現するためには、医療政策をリードし続ける強い『組織づくり』が不可欠である」と強調。11月25日には、前期の医師会将来ビジョン委員会からの報告書で指摘を踏まえ、初の試みとして、全国の医師会長等を招いて、「全国医師会・医師連盟医療政策研究会」を開催することを紹介し、協力を求めた。

「日医が考える国民視点に立った医療を実現するためには、医療政策をリードし続ける強い『組織づくり』が不可欠である」と強調。11月25日には、前期の医師会将来ビジョン委員会からの報告書で指摘を踏まえ、初の試みとして、全国の医師会長等を招いて、「全国医師会・医師連盟医療政策研究会」を開催することを紹介し、協力を求めた。

横倉義武会長は9月20日、同日行われた自由民主党の総裁選において、安倍晋三内閣総理大臣が連続3選を果たしたことを受けてコメント(全文は日医ホームページ「レスリリース」に掲載)を公表し、祝意を表した。

コメントの中で横倉会長は、まず、3選を果たしたことについて、「これまでの改革の方向性を継続することが信任されたことは、我々医療界にとっても大変喜ばしいことであり、心よりお祝い申し上げたい」と祝意を述べた上で、安定した政権運営の下、わが国が抱える諸課題の解決に向けて、引き続き力を発揮することに期待感を示した。

また、わが国が世界に先駆けて超高齢社会となり、その状況に今後どのような対応していくかが大きな課題となっており、世界的にも注目されていると指摘。「日医は、得られるよう努めていく」とした。

更に、診療報酬上の対策については、平成30年度改定の基本方針の一つとして「働き方改革の推進」が加えられたことに言及した上で、「働き方改革の推進のためには、今後も改定の度に継続的に対応していくべきと考えており、その具体的な対策については、厚労省と相談していく」と回答した。

その上で、同常任理事は、在宅・介護施設等からの急変患者受け入れ体制の整備について、引き続き国に予算要望していくとした他、かかりつけ医師にとって最良の働き方改革になるよう引き続き努力していくとの決意を示し、そのための理解と協力を求めた。

「医師の健康と地域医療の両立」を図る上で求められる体制に関する山口県医師会からの質問に対して、松本吉郎常任理事はまず、今期も会内の「医師の働き方検討委員会」において議論が開始されたことを報告。勤務医間インテグレーション制度を始め、有効かつ実現可能な健康確保策を国へ提言していく考えを示した。

また、救急患者への対応も重要課題であるとして、在宅・介護施設等からの急変患者受け入れ体制の整備について、引き続き国に予算要望していくとした他、かかりつけ医師にとって最良の働き方改革になるよう引き続き努力していくとの決意を示し、そのための理解と協力を求めた。

「医師の健康と地域医療の両立」を図る上で求められる体制に関する山口県医師会からの質問に対して、松本吉郎常任理事はまず、今期も会内の「医師の働き方検討委員会」において議論が開始されたことを報告。勤務医間インテグレーション制度を始め、有効かつ実現可能な健康確保策を国へ提言していく考えを示した。

また、救急患者への対応も重要課題であるとして、在宅・介護施設等からの急変患者受け入れ体制の整備について、引き続き国に予算要望していくとした他、かかりつけ医師にとって最良の働き方改革になるよう引き続き努力していくとの決意を示し、そのための理解と協力を求めた。

社会保障を充実させることにより、国民の不安を解消するという日医の提言と、目指す方向性は一致しているとして、その実現に向けて協力していく考えを示した。

また、わが国が世界に先駆けて超高齢社会となり、その状況に今後どのような対応していくかが大きな課題となっており、世界的にも注目されていると指摘。「日医は、得られるよう努めていく」とした。

更に、診療報酬上の対策については、平成30年度改定の基本方針の一つとして「働き方改革の推進」が加えられたことに言及した上で、「働き方改革の推進のためには、今後も改定の度に継続的に対応していくべきと考えており、その具体的な対策については、厚労省と相談していく」と回答した。

その上で、同常任理事は、愛知県医師会からのJMAT体制についての質問に対し、「日本医師会防災業務計画」及び「JMAT要綱」の改正内容を説明。新たに要綱に明記された「統括JMAT」(2面に続く)

横倉会長

**安倍総理の自民党総裁選3選を受けて
祝意を表す**

(1面より)
 に関して、そのチームを派遣する場合には、都道府県医師会へ速やかに周知徹底することした他、基本的には派遣経験が豊富な都道府県医師会に派遣を要請することになると回答した。

岡山県医師会からの先遣JMATの早期派遣体制の構築を求める要望については、「JMAT要綱」の改正で「被災地の都道府県医師会からの要請を原則とするが、状況把握が困難な場合は日医の判断により統括JMATを派遣することが明記されたことを説明。

今回の北海道胆振東部地震では、北海道医師会と密な連絡が取れたことから、被災地外からの統括JMATの派遣は見送り、長瀬清北海道医会長をリーダーとする先遣JMATを初めて派遣したことを報告した。

更に、統括JMATの構成メンバーについては、JMAT研修のうち、「統括JMAT編」を修了していることが望ましいとして、本年度から始まった日医のJMAT研修の予定を説明するとともに、提案のあった郡市区等医師会向けの研修について、「地域医師会JMATコーディネーター編」のプログラムを作成していることを報告。引き続き、「救急医療対策委員会」で各研修プロ

ラムの改善について検討していくとした。

また、日本医師会プラットフォームの設置に関する提案については、恒常的に寄付金を募り、資金面でもスピーディーな医療支援・復興支援ができる体制をつくることは急務であるとの認識を示

(4) 地域医療構想の議論の活性化のための方策(地域医療構想調整会議に設置する専門部会の開催経費に対する地域医療介護総合確保基金の活用と病床機能報告に係るデータ活用)について

地域医療構想の議論の活性化のための方策に関する鹿児島県医師会からの質問には、釜道敏常任理事が回答。地域医療構想調整会議に係る経費については、地域医療介護総合確保基金で対応できるように、引き続き国に強く求めていくとした。

国が一括して主な診療実績データの「見える化」を行うことについては、厚労省に対し、各構想区域の事務局・関係者の負担軽減に向けた施策を要請するとともに、国のデータの出し方・示し方が、調整会議の協議内容を全国で画一的なものに導くことのないよう、引き続き注視していく考えを示した。

した上で、従来から申請していた「税額控除対象法人」が認定され、税制上の優遇措置が適用されることになったことを紹介。「今後は災害時のみならず、常時、日医のホームページ等を通じて寄付金募集を進めていく」と述べた。

(5) 地域住民の健康や衛生を支える保健所勤務医師の現状と課題

地域住民の健康や衛生を支える保健所勤務医師の現状と課題についての質問には、羽島裕常任理事が、公衆衛生関係の医師の需要は認識されているものの、その具体的な確保策が示されていないことを問題視していると説明。

その解決策として、国が平成16年から開始している公衆衛生医師確保推進登録事業の各自自治体への更なる周知が必要と指摘した他、日医と関係学会、保健所長会なども連携して、「一般社団法人社会医学系専門医協会」が昨年度から開始し

ている専門医養成に関しても周知を図っていく考えを示した。

(6) 特定健診のより一層の充実と実施上の混乱回避に向けて

特定健診のより一層の充実と実施上の混乱回避に向けて、①血清クレアチニン検査とeGFR②消費税③全国組織の保険者におけるルールの徹底を求める滋賀県医師会の質問には、城守国斗常任理事が回答した。

①には、日医が、制度開始当初から全受診者に実施する重要性を主張してきた結果、詳細な健診項目ではあるが制度の中に位置づけられなかったとして、その意義を強調。引き続き有用性に関するエビデンスを積み上げ、基本項目として位置づけられるよう、検討の場で主張していくとした。

定の厚労省「実務担当者による特定健診・特定保健指導に関するワーキンググループ」で議論を進めていきたい」と述べた。

(7) 児童虐待を中心とした母子保健・乳幼児保健、学校保健対策について

児童虐待について、日医の対応を求める東京都医師会からの要望には、平川俊夫常任理事が回答した。

まず、児童虐待については日医としても問題視していると強調した上で、①妊産婦のメンタルサポート②未受診妊婦、若年妊娠に対する対策と支援③妊娠前からの健康教育、虐待防止、自殺防止の対策と支援④教職員等の研修事業——に関する日医の考えを説明。

①では、妊産婦の自殺等は、産後うつが原因の一つと考えられることから、「産婦人科医、小児科医、精神科医が連携し、妊産婦を地域で支える必要

(8) 大病院医療情報ネットワーク研究センター「オンライン学術集会演説」の継続について

大病院医療情報ネットワーク研究センターの「オンライン学術集会演説」の継続について、同センターによる継続運用または日医が引き継いだ形での運用を求める北海道医師会からの要望には、羽島常任理事が回答した。

同常任理事はまず、これまで同センターが無償でサービスを提供してきた理由で終了することになった経緯及び、日医並びに日本医学会の働き掛

きがある」との認識を示した。

(9) 消費税問題への対応及び経過について

医療機関の消費税問題に関して、補てん率把握の誤りがあった問題や抜本的解決に向けた対応について、現在の状況や取り組みを問う長崎県医師会からの質問には、小玉常任理事が回答した。

同常任理事は、これまで消費税問題の抜本的解決に向けて、日医として医療界の意見を一つに取りまとめることを最優先に尽力してきた結果、控除対象外消費税問題解消のための新たな税制上の仕組みについての提言として公開することがで

きたと説明。提言には、現行の診療報酬への補てんの仕組みを維持した上で、個別の医療機関等に生じる補てんの過不足に対応する税制上の仕組みの創設」等の内容が含まれていることを紹介した。

(10) 控除対象外消費税問題解消のための新たな税制上の仕組みについての提言について

中川俊男副会長は、「控除対象外消費税問題解消のための新たな税制上の仕組みについての提言」について、医療界が一丸となってまとめたものであるとした上で、「各医療機関自身で過不足分を把握し、申告することが今回の提言のポイントである」と述べ、その概要を説明した。

また、新たな仕組みを実現するための課題として、①消費税補てん額の把握②薬価・特定保険医療材料価格への対応

事前登録
受付中



第30回 日本医学会総会 2019 中部

分科会応援早割の締切迫る

第30回日本医学会総会2019中部が「医学と医療の深化と広がり～健康長寿社会の実現をめざして～」をメインテーマとして、2019年4月27日(土)～29日(月・祝)まで、名古屋国際会議場等で開催されます(その他関連イベントあり)。ぜひ、ご参加願います。

登録時に、日本医学会分科会(日本医学会に加盟する学会)に所属している方が特別価格(当日35,000円のところ25,000円)で登録できる分科会応援早割の締切は、**10月31日(水)正午まで**となっておりますので、ご注意願います。

なお、プログラム等の詳細は、第30回日本医学会総会2019中部のホームページ(<http://isoukai2019.jp/>)をご参照下さい。

③小規模医療機関への対応——があると指摘。「控除対象外消費税問題解消は待たなし」であり、具体的な制度設計は各界の叡智も頂きながら、医療界が一致団結して新たな仕組みの実現に向けて邁進していききたい」として、理解と協力を求めた。

(11) 准看護師試験事務の委託について

金澤常任理事は、保健師助産師看護師法が改正されたことにより、都道府県知事が指定した試験機関に准看護師試験事務の全部または一部を委託

することが可能になったことを踏まえ、病院団体と共にその受け皿となる「一般財団法人准看護師推進センター(仮称)」を設立し、受託に向けた準備を進めていることを報告した。

同常任理事は、①新たに設立する法人では最低2パターンの試験問題を作成し、それに応じて複数の試験日を設定する②試験日は看護師国家試験とは別の日とする③試験問題の質の確保を図り、

(12) 「次世代医療基盤法」に対する日医の取り組みについて

石川常任理事は、厚労省を中心にデータヘルス改革が進められる中で、5月11日に施行された「次世代医療基盤法」の概要を説明。



中医協診療報酬調査専門組織「医療機関等における消費税負担に関する分科会」が9月19日、厚生労働省で開催され、会議の冒頭、樽見英樹厚労省保険局長から、診療報酬による補てん状況の集計ミスについてお詫びする旨の発言があった。

その上で、日医が一般財団法人を設立し、同法に規定されている匿名加工医療情報作業業務を行う認定事業者として認定を受けるべく申請を行う予定であることを明らかにし、「法人の詳細等については決定次第、改めて報告したい」と述べた。なお、当日は議事に先立ち、「第30回日本医学会総会2019中部」の齋藤英彦会頭(名古屋大学名誉教授)から、来年4月に開催予定である総会の概要の説明と参加の呼び掛けが行われた。他、長瀬北海道医会長からは、9月6日に発生した北海道胆振東部地震の被災地支援に対する感謝の意が示された。

中医協

医療機関等における消費税負担に関する分科会

診療報酬による補てん状況の集計ミスに関して厚労省が陳謝

これを受けて日医では、中川俊男副会長が8月30日、厚労省を訪問し、樽見保険局長に厳重に抗議するとともに、速やかな対策を講じるよう要請。厚労省の回答は、本分科会で示されることになった(本紙第1369号既報)。

これを受けて日医では、中川俊男副会長が8月30日、厚労省を訪問し、樽見保険局長に厳重に抗議するとともに、速やかな対策を講じるよう要請。厚労省の回答は、本分科会で示されることになった(本紙第1369号既報)。

樽見保険局長は、「補てん状況について誤ったものを世の中に出してしまったことを深くお詫びしたい。二度とこのようなことが起きないように、他のデータからも確認するなど、丁寧な作業を徹底していく」と陳謝。今後については、「消費税10%への引き上げの際には、しっかりと補てんできるようにしていかなければならない。その具

体策については、消費税8%への引き上げに伴う補てん状況の把握結果などを踏まえ、ご議論頂きたい」と述べた。また、年末の税制改正に向けては厚労省として新たな措置を求めていることを説明した上で、医政局とも連携して取り組んでいくとした。中川副会長は、樽見保険局長の発言を受けて、「会議の冒頭に保険局長

「医師の証明ができます」
—採用時に使える医師の身分証—

医師採用時、医師資格証(HPKIカード)を、医師免許証の代わりとすることができるようになりました。詳しくは、日医電子認証センターホームページの2017年12月22日付News欄をご覧ください。

詳しくはホームページをご覧ください。

日本医師会 電子認証センター

日本医師会 電子認証センター

からお詫びの言葉を頂き、ありがたい。局長の発言は、三師会・四病院団体協議会で取りまとめた『控除対象外消費税問題解消のための新たな税制上の仕組みについての提言』を全面的に支援して頂けるという意味と解釈した」と述べ、一定の理解を示した。また、同副会長は、議論の中で、平成28年3月から分科会が開催されてこなかったことを問題視述べ、理解を求めた。

するとともに、「もし、昨年の11月に分科会を開催し、平成28年度の補てん状況が示されていれば、平成30年度の診療報酬改定の際に何らかの対応ができたはずだ」として、厚労省事務局の対応を批判。これに対して、厚労省事務局は、「指摘のとおりだ」とした上で、「消費税率が10%に引き上げられる際には速やかに対応していきたい」と述べ、理解を求めた。

日医 定例記者会見

9月12・19日

北海道胆振東部地震に対する 日医の対応について説明



中川俊男副会長並びに石川広己常任理事は、9月6日午前3時7分に発生した北海道胆振東部地震への日医の対応について報告した。

「亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、多くの被災された方々に対しては心よりお見舞い申し上げます」と述べた上で、発災後の日医の対応について、横倉義武会長の指示の下、発災直後の同日午前3時19分に都道府県医師会に対し、「都道府県医師会・日本医師会災害時情報共有システム」を通じて情報提供を要請。被害状況の把握に努めつつ、11時54分には横倉会長を本部長とする災害対策本部を日医に設置し、被災者健康支援連絡協議会や関係省庁にも随時、情報提供を行ってきたことを説明した。

また、被災地の状況を把握するとともに今後の対応を検討することを目的として、長瀬清北海道医師会長をリーダーとする「先遣JMAT」を苫小牧市に派遣し、その報告を基に被災地JMATを派遣することを決定。現在は診療や健康管理の他、被災地の医療ニーズの把握や評価など、統括的な任務を行っているとした。

その上で、同副会長は、「被災地に地域医療、地域包括ケアシステムを取り戻すことが最大の課題である。これからも現地の状況を見ながら、都府県医師会の協力を得て必要な支援を行っていきたい」と述べた。



石川常任理事は、サイバーセキュリティ重要インフラにおける日医の医療セプター事務局の活動について説明した。

同常任理事は、初めに、医療分野の「情報共有・分析機能(セプター)」としての「医療セプター」が平成19年度に整備され、日医はその際、構成員として名前を連ねているが、この度、厚生労働省からの依頼に基づき、医療セプターの事務局を

たことに言及。「医療は電子カルテを含め電力なしでは成り立たない。今後、今回のような事態は全国でも発生する可能性があるが、その対応については、海外の事例も参考としながら、会内で早急に検討する必要性がある」とするとともに、「今後、地域包括ケアシステムを構築していく上でも、災害について考慮する必要があると改めて感じた。厚生労働省等とも協議していきたい」と述べた。

記者との質疑応答の中で、同副会長は全道的なブラックアウトが起こった場合に、サイバーセキュリティ重要インフラにおける日医の医療セプター事務局の活動を報告した。

「セプター(CERT OAR: Capability for Engineering of Protection, Technical Operation, Analysis and Response)」とは、重要インフラ事業者等の情報共有・分析機能及び当該機能を担う組織のことである。

重要インフラサービス障害の未然防止、発生時の被害拡大防止・迅速な復旧及び再発防止のため、政府等から提供される情報について、適切に重要インフラ事業者等に提供し、関係者間で情報を共有することによって、サービスの維持・復旧能力の向上に資する活動を目標としている。

セプターは「医療セプター」以外にも、情報通信、金融、航空、鉄道、電力等、各重要インフラ分野に存在し、全部で14分野18セプター(7月25日現在)がそれぞれ活動している。

同常任理事は、「医療セプター」の構成員が日医の呼び掛けにより、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本看護協会、四病院団体協議会、日本病院団体協議会など17機関になったこと等、その内容を詳細に説明。

政府の推進体制としては、内閣官房長官を本部長とする「サイバーセキュリティ戦略本部」と、その事務局である、内閣官房の「内閣サイバーセキュリティセンター(NISC)」が中心となっており、①先導的取組の推進②オリパラ大会も見据えた情報共有体制の強化③リスクマネジメントを踏まえた対処態勢整備の推進の三つを重点とした「重要インフラの情報セキュリティ対策に係る第4次行動計画」に基づき、NISCが、各重要インフラと関係省庁や関係機関との調整・連携を図りながら進めていると述べた。

最後に同常任理事は、今後の活動について、NISCを中心とした政府全体の推進体制の下、「第4次行動計画」に基づき、日頃の情報セキュリティの精度向上や、2020年のオリンピック・パラリンピックの開催に向けた体制の強化を進めるとともに、医療関係団体並びに都道府県・市区等医師会と共に医療機関における情報セキュリティを推進していきたいとの考えを示した。

「日医としてこれらの状況を深刻に受け止め、この程、医療機関の待合室などに貼ってもらえるように、風しんワクチンの接種を呼び掛けるポスターを作成したことを紹介した。」

同常任理事は、「本ポスターは風しんの症状を概説するとともに、風しんの抗体保有率が低いと言われる30歳から50歳代の男性を含め、ワクチン接種を受けていない方々に対し、ワクチン接種を呼び掛ける内容となっている」と説明。その上で、「ポスターを見ることで一人でも多くの方に予防接種を受けることを考え、周知への協力を求めた。」

釜淵敏常任理事は、風しんワクチン接種の啓発ポスターを作成したことを報告し、その活用を求めた(ポスターのデータは日医のホームページに掲載)。

同常任理事は、まず、①昨今、関東地方を中心に風しんの感染が拡大し

群として出生児にさまざまな障害を引き起こす可能性もあるが、妊娠中はワクチン接種を受けることができないため、周りの人々が接種を受けることが求められていること等を説明。

日医としてもこれらの状況を深刻に受け止め、この程、医療機関の待合室などに貼ってもらえるように、風しんワクチンの接種を呼び掛けるポスターを作成したことを紹介した。

同常任理事は、「本ポスターは風しんの症状を概説するとともに、風しんの抗体保有率が低いと言われる30歳から50歳代の男性を含め、ワクチン接種を受けていない方々に対し、ワクチン接種を呼び掛ける内容となっている」と説明。その上で、「ポスターを見ることで一人でも多くの方に予防接種を受けることを考え、周知への協力を求めた。」

同常任理事は、まず、①昨今、関東地方を中心に風しんの感染が拡大し

風しんワクチンの接種を呼び掛けるポスターを作成



釜淵敏常任理事

釜淵敏常任理事は、風しんワクチン接種の啓発ポスターを作成したことを報告し、その活用を求めた(ポスターのデータは日医のホームページに掲載)。

同常任理事は、まず、①昨今、関東地方を中心に風しんの感染が拡大し

同常任理事は、まず、①昨今、関東地方を中心に風しんの感染が拡大し

同常任理事は、まず、①昨今、関東地方を中心に風しんの感染が拡大し

同常任理事は、まず、①昨今、関東地方を中心に風しんの感染が拡大し

風しんのワクチン接種を受けましょう!
風しんは感染する病気です
あなただけでなく、大切な人を守るために

風しんウイルス

感染します

こんな症状

妊婦さんは要注意

風しんは、ワクチン接種することで防ぐことができる病気です。日本では30～50歳代の男性の約2割が風しんに対する免疫をもっていないとされています。これらの方を含めて、これまでワクチン接種を受けていない方は、家族や職場の方につらくなってしまうためにも、早めに接種を受けましょう。接種を希望される方は、お気軽にご相談ください。

健康の高「風しん」

日本医師会

同常任理事は、まず、①昨今、関東地方を中心に風しんの感染が拡大し

同常任理事は、まず、①昨今、関東地方を中心に風しんの感染が拡大し

ニュースポータルサイト「日医on-line」では、定例記者会見の映像等、さまざまな情報をご覧いただけるようになっています。ぜひご活用下さい。

<http://www.med.or.jp/nichiionline/>

日本医師会

総務課(人事・労務) 03-3942-6493・総務課 03-3942-6481/03-3942-6477・施設課 03-3942-7027・経理課 03-3942-6486・広報課 03-3942-6483・情報システム課 03-3942-6135・医療保険課 03-3942-6490
介護保険課 03-3942-6491・年金・税制課 03-3942-6487・生涯教育課 03-3942-6139・編集企画室 03-3942-6140・情報サービス課 03-3942-6482・医学図書館 03-3942-6489

横倉会長

南東ヨーロッパ医師フォーラム

第9回国際医学会議に出席

南東ヨーロッパ医師フォーラム(SEEMF)第9回国際医学会議が9月6日から8日にかけて、ボスニア・ヘルツェゴビナのテスリッチにおいて開催され、横倉義武会長が世界医師会(WMA)会長、日医会長として参加した。

参加者は約400名で、ブルガリア、ギリシャ、ウクライナ、スロバキア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、マケドニア、

アルバニア、ラトビア、チェコ、モルドバ、スロベニアの11カ国、欠席は、カザフスタン、ウズベキスタン、アゼルバイジャン、ジョージアの4カ国であった。また、新規にロシア、クロアチア、セルビア、モンテネグロの4カ国が加盟した。

SEEMFは、アルバニア、ブルガリア、ギリシャ、マケドニアの医療団体によって2005年、医療制度において共通する課題を抱える地域近隣国の医師組織間のプラットフォームとして設立された。

会議では、「医師組織とヘルスケアにおける諸問題」「医療専門家の倫理と道徳」の他、心臓病



アンドレイ・ケハイロフ SEEMF 会長 (ブルガリア・前列右から3人目) らと

と血管疾患、外科・小児外科、再生医療、腫瘍学、糖尿病、感染症予防(予防接種)、神経学・精神的トラウマ・精神障害、非感染性疾患などのトピックを取り上げられた。

横倉会長は講演で、人口、平均寿命、死亡原因、がん5年生存率の推移、がん対策基本法等、日本の医療を取り巻く現状を示し、特に1951年の結核予防法の制定により、結核による死亡の割合が低下したことが1961年の国民皆保険達成

に大きく寄与したことを述べた。

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)の推進については、2017年12月に東京で開催されたUHCフォーラム2017において、世界の保健分野のリーダーがUHCの支援を表明し、同フォーラムを通じて、UHCが世界各国の保健政策目標になったこと等、東京宣言の内容にも触れて紹介。

更に、本年4月、UHCの推進をテーマにテドロスWHO事務局長と覚書を締結し、WHOとWMAが協力・連携して取り組んでいくこと、来年6月大阪におけるG20の開催に併せて、H20(Health Professional Meeting 20)の開催を企画していることを説明した。

式典では、SEEMFから横倉会長のWMA会長としての活動を通じた国際医療保健分野における功績を称える賞が授与された。式典に引き続き、SEEMFの役員会が開催され、横倉会長が臨席を求められて出席。役員会では、2019年6月にギリシャで理事会、9月にブルガリアのソフィアで国際会議を開催することを決定した。ギリシャでは、ヒポクラテスの樹の再生事業についても議論することになっている。

また、横倉会長はブルガリア国営テレビのインタビューを受け、長生きをするためには、「食べ過ぎない」「適切に運動すること」が重要とするブルガリアの国民向けのメッセージを述べた。

おかげさまで

日本医師会

医師年金

50周年

医師年金は、日本医師会が運営する医師専用の私的年金です。

日医会員で満64歳6カ月未満の方が加入できます。申し込みは64歳3カ月までをお願いします。



ホームページを参考に、加入をご検討下さい。

医師年金 検索 <http://nenkin.med.or.jp/>

ご加入時の受取年金額のシミュレーションが可能です
 <トップページ→シミュレーション>

年金専門誌「年金情報」で管理運用体制が高く評価されました
 <トップページ→お知らせ>

お問い合わせ・資料請求等

日医 年金・税制課 ☎ 03-3942-6487(直) (平日9時半~17時)

書籍紹介



「夫の介護」が教えてくれたこと

川村隆枝 著

「夫の介護」が教えてくれたこと

川村隆枝

著者は、国立病院機構仙台医療センター麻酔科部長を務める現役の医師である。

医師として多忙な日々を送る中で、突然、自身の夫が脳出血で倒れ、半身不随となってしまう、

その介護に取り組むことになった経験が本書にはつづられている。

介護生活は、「ヘルパーさんに感情的になる」「精神的に不安定になり、意味の分からないことを喋り出す」など過酷なものであるが、「その経験を経たからこそ、夫婦の大切さを感じた」と述べるなど、現状を前向きに捉えた作品となっており、読んでいて勇気と希望が湧いてくる。

また、今後、高齢化の進展に伴い、在宅での介護も増えることが考えられるように、法律などの整備があるが、法律などの整備

れる中で、章の終わりに、それぞれ著者流の介護の心得が簡条書きに記されており、大変参考に

なる一冊と言える。定価 1404円(税込) 発行 アスコム 03-5425-6626

封じ込められた子ども、その心を聴くー性同一性障害の生徒に向き合う

中塚幹也 著



本書の著者は、およそ20年にわたりGIDの診断・治療に取り組んできた医師である。

本書では、性的マイノリティの基礎知識から社会の変遷、性別違和感を持つ子どもからのアライムサイン、文部科学省の動き、医療的支援、学校でできる具体的な対応などがさまざまな調査や事例

を交え、分かりやすく解説され、性別違和感を持つ子ども達が自分らしく、普通に生きるためには、

が分かりやすく解説されている。

まず、大人が関心を持つことが必要だとしてい

医療関係者は、医事紛争、医療関連法規の解釈、医療安全対策、医療倫理、個々のトラブルへの対応に加え、最近では医師の働き方などの労務問題まで、多くの課題に直面し

ており、当事者を取り巻く環境はいまだ厳しいものがある。

本書は、知識がないせいで身近な人を傷つけたための教師や保護者、学校医や小児科医、そして全ての大人達に向けた入門書と言え、ぜひ一読をお勧めしたい。

定価 648円(税込) 発行 ふくろう出版 086-255-2181

桑原弁護士の医療トラブル相談

桑原博道 著



本書は、約20年にわたる医療関係者の弁護をしてきた著者が、弁護士活動の中で医療関係者から受けたさまざまな質問や、その対応などをコンパクトにまとめたものである。

内容は「患者・家族からのクレーム対応」に始まり、「カルテ開示申請や証拠保全があったら」「個人情報保護法とそのトラブル対応」「未収金に関するトラブルへの対応」など全15章、100のQ&Aで構成され、

個々の課題への対応など

診療報酬改定に対応しており、診療報酬と薬剤情報を相互に参照できる2部構成。「第1部 診療報酬編」では、「特定薬剤治療管理料」などの診療報酬上の項目と、各項目に対応する薬剤が掲載されている。

の情報も収録。また、各商品名に付された「B001」などの対応マークを基に「診療報酬編」内で関連する項目を検索することができるようになっている。

「第2部 薬剤リスト編」は、一部薬剤を除く主要医薬品の一般名または商品名を50音順で掲載。薬剤ごとに出された個別通知や審査事例など

院内のレセプト業務に、またレセプト専門職以外の参考書籍として、傍らにあると心強い一冊と言える。

定価 4860円(税込) 発行 じほう 03-5209-1020

産業医学のプリンシプル〜大切なこと

03-5209-1020

産業医学振興財団 40周年記念誌

03-5209-1020



本書は、産業医学振興財団設立及び「産業医学ジャーナル」創刊の40周年を記念して編まれた産業医学・産業保健分野の「これまで」の振り返りと「これから」を展望する書となっている。

同分野を牽引してきた碩学、櫻井治彦慶應大学名誉教授と大久保利晃産業医科大学名誉教授（元学長）への2大インタビューとともに、各現場で活躍する7名の産業医に

その他、70を超える近年の重要テーマをコンパクトに解説、更に40名余の研究者等による寄稿が350頁超にわたって収められている。

なお、財団ホームページ「産業医学図書」コーナーまたはFAXで注文の際、「日医ニュースを見た」と明記すると、1割引(送料無料)となる。定価 1620円(税込) 発行 (公財) 産業医学振興財団 03-5209-1020

日医医学図書館 利用案内

医学図書館は、日医ホームページ(<http://www.med.or.jp>)の会員専用コーナー(メンバーズルーム)を通じて、ご自宅や勤務先などからご利用頂くことができます。

1. 各サービスのお申し込み

メンバーズルームの画面から、複写、調査、貸出を申し込むことができます。複写物や調査の結果は郵便で、貸出する本は宅急便でお届けします。国内や海外の図書館からも複写をお取り寄せできます。受付から3~7日程度で発送します。お急ぎの場合はご相談下さい。

料金：
コピー B5@10円 A4・B4@20円 A3@40円 +送料
*カラーコピー B5・A4・B4@50円 A3@80円
他の図書館から取り寄せた場合は、実費料金+依頼料+送料

2. 所蔵資料検索

雑誌、本、統計・白書などの所蔵状況を検索できます。所蔵していない資料は、他の図書館から複写などをお取り寄せできます。

3. 新着資料の案内

毎月、到着した国内雑誌の特集テーマや国内外の本をご案内しています。

郵便、FAXによるお申し込みも承っています。詳しくは、日本医師会医学図書館(〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 TEL03-3942-6492(直) FAX03-3942-6495 mail:jmalib@po.med.or.jp)まで。



南から北から

岩手県
奥州医師会月報
643号より

ハーブ

村井かほり

6年くらい前に、素敵
なお庭のある方から、ラ
ベンダーの苗を頂いて、
それを庭に植えたのを機
に私の小さなハーブ園が
始まりました。

ちょうどキッチンの窓
から見下ろすところに、
ラベンダー3株。今では
とても大きくなりました
た。そして、主人が食用
に種をまいて作ったタイ
ムとオレガノを分けても
らって、ラベンダーのそ
ばに植え替え、株分けし
ながら増やし、カモミ
ールとチャイブは、苗をホ
ームセンターで買ってき
て植えました。

人間の嗅覚は不思議で
ある。においが妙に昔の
記憶と繋がるのは良くあ
ることだ。

特定のにおいが、それ
に結びつく記憶や感情を
呼び起こす現象は、プル
ースト効果と名づけられ
ている。フランスの作家
マルセル・ブルーストの
『失われた時を求めて』
という小説の中で、主人
公がマドレーヌを紅茶に
浸した際、その香りで幼
少時代を思い出す場面が
あり、その描写が元にな

い気分になったことがあ
った。その時はおいの
元が何か分らずにいた
のだが、二度、三度と同
じ体験をするうちに、そ
れが金木犀によるもので
あることが判明した。

古くは悪臭を抑制する
目的で、そのにおいに負
けないくらい強い香り
を放つということ、か
つての水洗ではないとい
の近くに植えられるの
が日常的であったよう
である。また、遠くまで
においが拡散しやすいとい
う特徴もあるようだ。

香りのその強さから苦
手という人も結構いるら
しいが、自分は嫌いでは
なかった。ただし、学生
時代まで北海道を出たこ
とがなかったこと、道内
では金木犀の花を見た記
憶が一切なかったこと
(実際に庭植えでの北限
は仙台か盛岡くらいと言
われているそう)から、
懐かしさがどこからくる
のか皆目当がつかなか
った。もしかすると、大
昔の祖先の記憶の中で強
烈にそのにおいが残り、
DNAに染み込んで私に
伝わっているのではない
かと勝手な妄想をした。

暗記の際に特定のにお
いを嗅ぎ続けて、試験の
時にもその香りを染み込
ませた衣服を着たりハン
カチを身近に置いたりす
れば、香りが試験の回答
に必要な記憶を呼び起こ
してくるということも
あり得る由。また、認知

症の方に過去の想い出と
結びついた香りを嗅がせ
ると、それまでは思い出
せなかった家族のことが
よみがえってきた、とい
う報告事例もある。この
ように、プルースト効果
を活用すれば、医療にも
貢献できる可能性がある
のかも知れない。

更に言えば、心地よい
香りを纏って異性に会う
と、その香りの印象を相
手の記憶に植えつけるこ
ととなり、その人が別の
場所でも同じ香りを嗅ぐだ
けで自分を思い出しても
らえる、つまり、直接会
っていないのにその香り
によって自分の存在を思
い起こさせることになる
↓好意を持つようになる
という、恋愛技術にも応
用範囲を広げられるらし
い。

北海道
室蘭市医師会誌
第29号より

においと記憶

富田 雅義

ある時、自分の子ども
時代の金木犀と接する機
会の有無を、耳は遠くな
で溢れた。

富山の美家で5歳にな
る柴犬を飼っている。私
は現在2度目の七尾生活
を送っているが、以前こ
こに勤務していた5年前
に美家に連れて帰った犬
が亡くなって3年。祖母
と父、母の大人だけの生
活は、食事中も会話なし
で、テレビをBGMにし
て、黙々と食べているよう

富山の美家で5歳にな
る柴犬を飼っている。私
は現在2度目の七尾生活
を送っているが、以前こ
こに勤務していた5年前
に美家に連れて帰った犬
が亡くなって3年。祖母
と父、母の大人だけの生
活は、食事中も会話なし
で、テレビをBGMにし
て、黙々と食べているよう

富山の美家で5歳にな
る柴犬を飼っている。私
は現在2度目の七尾生活
を送っているが、以前こ
こに勤務していた5年前
に美家に連れて帰った犬
が亡くなって3年。祖母
と父、母の大人だけの生
活は、食事中も会話なし
で、テレビをBGMにし
て、黙々と食べているよう

富山の美家で5歳にな
る柴犬を飼っている。私
は現在2度目の七尾生活
を送っているが、以前こ
こに勤務していた5年前
に美家に連れて帰った犬
が亡くなって3年。祖母
と父、母の大人だけの生
活は、食事中も会話なし
で、テレビをBGMにし
て、黙々と食べているよう

富山の美家で5歳にな
る柴犬を飼っている。私
は現在2度目の七尾生活
を送っているが、以前こ
こに勤務していた5年前
に美家に連れて帰った犬
が亡くなって3年。祖母
と父、母の大人だけの生
活は、食事中も会話なし
で、テレビをBGMにし
て、黙々と食べているよう

富山の美家で5歳にな
る柴犬を飼っている。私
は現在2度目の七尾生活
を送っているが、以前こ
こに勤務していた5年前
に美家に連れて帰った犬
が亡くなって3年。祖母
と父、母の大人だけの生
活は、食事中も会話なし
で、テレビをBGMにし
て、黙々と食べているよう

石川県報
第1655号より

七尾のなない

酒井 珠美

富山の美家で5歳にな
る柴犬を飼っている。私
は現在2度目の七尾生活
を送っているが、以前こ
こに勤務していた5年前
に美家に連れて帰った犬
が亡くなって3年。祖母
と父、母の大人だけの生
活は、食事中も会話なし
で、テレビをBGMにし
て、黙々と食べているよう

富山の美家で5歳にな
る柴犬を飼っている。私
は現在2度目の七尾生活
を送っているが、以前こ
こに勤務していた5年前
に美家に連れて帰った犬
が亡くなって3年。祖母
と父、母の大人だけの生
活は、食事中も会話なし
で、テレビをBGMにし
て、黙々と食べているよう

富山の美家で5歳にな
る柴犬を飼っている。私
は現在2度目の七尾生活
を送っているが、以前こ
こに勤務していた5年前
に美家に連れて帰った犬
が亡くなって3年。祖母
と父、母の大人だけの生
活は、食事中も会話なし
で、テレビをBGMにし
て、黙々と食べているよう

富山の美家で5歳にな
る柴犬を飼っている。私
は現在2度目の七尾生活
を送っているが、以前こ
こに勤務していた5年前
に美家に連れて帰った犬
が亡くなって3年。祖母
と父、母の大人だけの生
活は、食事中も会話なし
で、テレビをBGMにし
て、黙々と食べているよう

家を建てた時から植え
ているブルーベリーの木
は、毎年、黒い小さな虫

案内



アメリカ医師会（AMA）・日本医師会（JMA）共同シンポジウム

国際展開を目指すAMA・JMAの 新たなジャーナルについて

◆主催：日医、日本医学
会
◆日時：11月2日（金）
午後1時～5時

◆場所：日医会館大講堂
◆参加費：無料（同時通
訳付）

◆申込方法：日医会員
は、①所属医師会名②氏
名（ふりがな）③所属機
関④医籍登録番号、一般

◆申込締切：10月25日
・「JAMA Network Open」の
目的と戦略（フレデリ
ック・リヴァラ JAMA
Network Open編集長）
・投稿論文を如何に増
やすかー JMA Journalへ
のアドバイス（マイケ
ル・バークウィッツ The
JMA Networkエレクトロ
ニック・エディター）
・「JMA Journal」発行の
目的と戦略（五十嵐隆
JMA Journal副編集長／
国立成育医療研究センタ
ー理事長）

第5回 医師たちによるクリスマス・チャリティコンサート

鑑賞者募集中

日医では、日医会員を含むユニットが出演する、チャリティを
目的とした「第5回医師たちによるクリスマス・チャリティコン
サート」を開催する。

都道府県・郡市区等医師会のご協力の下、出演希望を募ったと
ころ、定数を大きく上回る応募があり、選考の結果、出演ユニッ
トが決定した。

ついては、皆様にご鑑賞頂きたく、ぜひお申し込み願いたい。

- 日時：12月16日（日）12:00開場・12:30開演
- 場所：日医会館1階大講堂
- 入場料：無料（ただし、当日、会場に募金箱を設置し、寄付を募る）
※寄せられた募金は、国境なき医師団日本（認定NPO法人）及
び難病の子どもや家族を支援する団体へ寄付を予定。

●申込方法：鑑賞希望者は、日医ホームページ（メンバーズルーム）
から専用申込用紙をダウンロードするか、必要事項（①郵便番号
②住所③氏名④参加人数⑤電話番号⑥FAX番号（FAXで申し込み
をする方のみ））を漏れなく記入の上、「クリスマス・チャリティ
コンサート鑑賞希望」と明記し、FAX、メール、郵送のいずれか
の方法により申し込み願いたい。

申込者には11月上旬より順次、人数分の入場券（ハガキ）を送
付する。

●申込締切：12月12日（水）必着
（ただし、希望者多数の場合は先着順とし、定員になり次第締め切る。）

【出演ユニット】合計7組 ※出演順
前半＜ポピュラー部門＞3組

- 三野原 元澄（福岡県）
& So On（福岡県）
Liebe Parze（岐阜県）

後半＜クラシック部門＞4組

- 東京ドクターズカルテット（東京都）
奏歌＜SOUKa＞（兵庫県）
OASIS（宮崎県）
小田原医師会合唱団（神奈川県）

【オープニング・アクト】
富士学苑中学高等学校 ジャズバンド部
～ Moon Inlet Sounds Orchestra～

【ゲスト演奏】新垣 隆（ピアニスト）

【司会】濱中 博久（元NHKアナウンサー）

●申し込み・問い合わせ先：
日医年金・税制課 クリスマス・チャリティコンサート係
<電話> 03-3942-6487（直） 平日9:30～17:00
<FAX> 03-3942-6503
<メール> xmascc@po.med.or.jp
<郵便> 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
※未就学児童の入場は、ご遠慮下さい。

◆主催（共催）：日医、
◆会場：郡山市 郡山商
会
◆日時：11月10日（土）
午後1時30分～4時40分

子育て支援フォーラム in 福島 ～子育て支援とゼロ歳児からの 虐待防止を目指して～

◆主催（共催）：日医、
◆会場：郡山市 郡山商
会
◆日時：11月10日（土）
午後1時30分～4時40分

①あいさつ 横倉義武会
長、佐藤武寿福島県医師
会長
②報告 県民健康調査妊
産婦に関する調査報告
（藤森敬也福島県立医科
大学医学部産科婦人科学
講座教授／放射線医学県
民健康管理センター妊産
婦調査室長）
③基調講演「少子高齢化
社会における産後ケアの
重要性」（吉村泰典慶應
大学医学部特任教授）
④シンポジウム
「今日の子ども家庭と
社会的養護の現状・課
題」（加賀美尤祥社会福
祉法人山梨立正光生園理
事長／山梨県立大学人間
福祉学部特任教授）
⑤総合討論
「妊娠期からの虐待予
防～虐待ゼロを目指し
て～」（奥山眞紀子国立
成育医療研究センターこ
ころの診療部統括部長）
・郡山市における子育
て世代包括支援センター
事業の取組み（滝田昌
宏郡山市子ども部子ども
支援課長）

◆後援：厚生労働省他
◆参加費：無料
◆申込方法：日医ホーム
ページ（http://www.med.
or.jp/people/info-
event/seminar/005925.
html）から所定の申込書
を入手し、必要事項を記
入の上、郵送またはメー
ル、FAXにより福島県
医師会宛てに申し込み願
いたい。

◆申込締切：11月2日
（金）。ただし、定員（2
50名）になり次第締め
切る。

◆主催：日医、日本医学
会
◆日時：11月2日（金）
午後1時～5時

◆場所：日医会館大講堂
◆参加費：無料（同時通
訳付）

◆申込方法：日医会員
は、①所属医師会名②氏
名（ふりがな）③所属機
関④医籍登録番号、一般

◆申込締切：10月25日
・「JAMA Network Open」の
目的と戦略（フレデリ
ック・リヴァラ JAMA
Network Open編集長）
・投稿論文を如何に増
やすかー JMA Journalへ
のアドバイス（マイケ
ル・バークウィッツ The
JMA Networkエレクトロ
ニック・エディター）
・「JMA Journal」発行の
目的と戦略（五十嵐隆
JMA Journal副編集長／
国立成育医療研究センタ
ー理事長）

◆主催（共催）：日医、
◆会場：郡山市 郡山商
会
◆日時：11月10日（土）
午後1時30分～4時40分

◆後援：厚生労働省他
◆参加費：無料
◆申込方法：日医ホーム
ページ（http://www.med.
or.jp/people/info-
event/seminar/005925.
html）から所定の申込書
を入手し、必要事項を記
入の上、郵送またはメー
ル、FAXにより福島県
医師会宛てに申し込み願
いたい。

◆申込締切：11月2日
（金）。ただし、定員（2
50名）になり次第締め
切る。

◆主催：日医、日本医学
会
◆日時：11月2日（金）
午後1時～5時

◆場所：日医会館大講堂
◆参加費：無料（同時通
訳付）

◆申込方法：日医会員
は、①所属医師会名②氏
名（ふりがな）③所属機
関④医籍登録番号、一般

◆申込締切：10月25日
・「JAMA Network Open」の
目的と戦略（フレデリ
ック・リヴァラ JAMA
Network Open編集長）
・投稿論文を如何に増
やすかー JMA Journalへ
のアドバイス（マイケ
ル・バークウィッツ The
JMA Networkエレクトロ
ニック・エディター）
・「JMA Journal」発行の
目的と戦略（五十嵐隆
JMA Journal副編集長／
国立成育医療研究センタ
ー理事長）

◆主催（共催）：日医、
◆会場：郡山市 郡山商
会
◆日時：11月10日（土）
午後1時30分～4時40分

◆後援：厚生労働省他
◆参加費：無料
◆申込方法：日医ホーム
ページ（http://www.med.
or.jp/people/info-
event/seminar/005925.
html）から所定の申込書
を入手し、必要事項を記
入の上、郵送またはメー
ル、FAXにより福島県
医師会宛てに申し込み願
いたい。

◆申込締切：11月2日
（金）。ただし、定員（2
50名）になり次第締め
切る。

◆主催：日医、日本医学
会
◆日時：11月2日（金）
午後1時～5時

◆場所：日医会館大講堂
◆参加費：無料（同時通
訳付）

◆申込方法：日医会員
は、①所属医師会名②氏
名（ふりがな）③所属機
関④医籍登録番号、一般

◆申込締切：10月25日
・「JAMA Network Open」の
目的と戦略（フレデリ
ック・リヴァラ JAMA
Network Open編集長）
・投稿論文を如何に増
やすかー JMA Journalへ
のアドバイス（マイケ
ル・バークウィッツ The
JMA Networkエレクトロ
ニック・エディター）
・「JMA Journal」発行の
目的と戦略（五十嵐隆
JMA Journal副編集長／
国立成育医療研究センタ
ー理事長）

◆主催（共催）：日医、
◆会場：郡山市 郡山商
会
◆日時：11月10日（土）
午後1時30分～4時40分

◆後援：厚生労働省他
◆参加費：無料
◆申込方法：日医ホーム
ページ（http://www.med.
or.jp/people/info-
event/seminar/005925.
html）から所定の申込書
を入手し、必要事項を記
入の上、郵送またはメー
ル、FAXにより福島県
医師会宛てに申し込み願
いたい。

◆申込締切：11月2日
（金）。ただし、定員（2
50名）になり次第締め
切る。

◆主催：日医、日本医学
会
◆日時：11月2日（金）
午後1時～5時

◆場所：日医会館大講堂
◆参加費：無料（同時通
訳付）

◆申込方法：日医会員
は、①所属医師会名②氏
名（ふりがな）③所属機
関④医籍登録番号、一般

◆申込締切：10月25日
・「JAMA Network Open」の
目的と戦略（フレデリ
ック・リヴァラ JAMA
Network Open編集長）
・投稿論文を如何に増
やすかー JMA Journalへ
のアドバイス（マイケ
ル・バークウィッツ The
JMA Networkエレクトロ
ニック・エディター）
・「JMA Journal」発行の
目的と戦略（五十嵐隆
JMA Journal副編集長／
国立成育医療研究センタ
ー理事長）

◆主催（共催）：日医、
◆会場：郡山市 郡山商
会
◆日時：11月10日（土）
午後1時30分～4時40分

◆後援：厚生労働省他
◆参加費：無料
◆申込方法：日医ホーム
ページ（http://www.med.
or.jp/people/info-
event/seminar/005925.
html）から所定の申込書
を入手し、必要事項を記
入の上、郵送またはメー
ル、FAXにより福島県
医師会宛てに申し込み願
いたい。

◆申込締切：11月2日
（金）。ただし、定員（2
50名）になり次第締め
切る。

◆主催：日医、日本医学
会
◆日時：11月2日（金）
午後1時～5時

◆場所：日医会館大講堂
◆参加費：無料（同時通
訳付）

◆申込方法：日医会員
は、①所属医師会名②氏
名（ふりがな）③所属機
関④医籍登録番号、一般

◆申込締切：10月25日
・「JAMA Network Open」の
目的と戦略（フレデリ
ック・リヴァラ JAMA
Network Open編集長）
・投稿論文を如何に増
やすかー JMA Journalへ
のアドバイス（マイケ
ル・バークウィッツ The
JMA Networkエレクトロ
ニック・エディター）
・「JMA Journal」発行の
目的と戦略（五十嵐隆
JMA Journal副編集長／
国立成育医療研究センタ
ー理事長）

◆主催（共催）：日医、
◆会場：郡山市 郡山商
会
◆日時：11月10日（土）
午後1時30分～4時40分

◆後援：厚生労働省他
◆参加費：無料
◆申込方法：日医ホーム
ページ（http://www.med.
or.jp/people/info-
event/seminar/005925.
html）から所定の申込書
を入手し、必要事項を記
入の上、郵送またはメー
ル、FAXにより福島県
医師会宛てに申し込み願
いたい。

◆申込締切：11月2日
（金）。ただし、定員（2
50名）になり次第締め
切る。

◆主催：日医、日本医学
会
◆日時：11月2日（金）
午後1時～5時

◆場所：日医会館大講堂
◆参加費：無料（同時通
訳付）

◆申込方法：日医会員
は、①所属医師会名②氏
名（ふりがな）③所属機
関④医籍登録番号、一般

◆申込締切：10月25日
・「JAMA Network Open」の
目的と戦略（フレデリ
ック・リヴァラ JAMA
Network Open編集長）
・投稿論文を如何に増
やすかー JMA Journalへ
のアドバイス（マイケ
ル・バークウィッツ The
JMA Networkエレクトロ
ニック・エディター）
・「JMA Journal」発行の
目的と戦略（五十嵐隆
JMA Journal副編集長／
国立成育医療研究センタ
ー理事長）

◆主催（共催）：日医、
◆会場：郡山市 郡山商
会
◆日時：11月10日（土）
午後1時30分～4時40分

◆後援：厚生労働省他
◆参加費：無料
◆申込方法：日医ホーム
ページ（http://www.med.
or.jp/people/info-
event/seminar/005925.
html）から所定の申込書
を入手し、必要事項を記
入の上、郵送またはメー
ル、FAXにより福島県
医師会宛てに申し込み願
いたい。

◆申込締切：11月2日
（金）。ただし、定員（2
50名）になり次第締め
切る。

◆主催：日医、日本医学
会
◆日時：11月2日（金）
午後1時～5時

◆場所：日医会館大講堂
◆参加費：無料（同時通
訳付）

◆申込方法：日医会員
は、①所属医師会名②氏
名（ふりがな）③所属機
関④医籍登録番号、一般

◆申込締切：10月25日
・「JAMA Network Open」の
目的と戦略（フレデリ
ック・リヴァラ JAMA
Network Open編集長）
・投稿論文を如何に増
やすかー JMA Journalへ
のアドバイス（マイケ
ル・バークウィッツ The
JMA Networkエレクトロ
ニック・エディター）
・「JMA Journal」発行の
目的と戦略（五十嵐隆
JMA Journal副編集長／
国立成育医療研究センタ
ー理事長）

◆主催（共催）：日医、
◆会場：郡山市 郡山商
会
◆日時：11月10日（土）
午後1時30分～4時40分

◆後援：厚生労働省他
◆参加費：無料
◆申込方法：日医ホーム
ページ（http://www.med.
or.jp/people/info-
event/seminar/005925.
html）から所定の申込書
を入手し、必要事項を記
入の上、郵送またはメー
ル、FAXにより福島県
医師会宛てに申し込み願
いたい。

◆申込締切：11月2日
（金）。ただし、定員（2
50名）になり次第締め
切る。

◆主催：日医、日本医学
会
◆日時：11月2日（金）
午後1時～5時

◆場所：日医会館大講堂
◆参加費：無料（同時通
訳付）

◆申込方法：日医会員
は、①所属医師会名②氏
名（ふりがな）③所属機
関④医籍登録番号、一般

◆申込締切：10月25日
・「JAMA Network Open」の
目的と戦略（フレデリ
ック・リヴァラ JAMA
Network Open編集長）
・投稿論文を如何に増
やすかー JMA Journalへ
のアドバイス（マイケ
ル・バークウィッツ The
JMA Networkエレクトロ
ニック・エディター）
・「JMA Journal」発行の
目的と戦略（五十嵐隆
JMA Journal副編集長／
国立成育医療研究センタ
ー理事長）

◆主催（共催）：日医、
◆会場：郡山市 郡山商
会
◆日時：11月10日（土）
午後1時30分～4時40分

◆後援：厚生労働省他
◆参加費：無料
◆申込方法：日医ホーム
ページ（http://www.med.
or.jp/people/info-
event/seminar/005925.
html）から所定の申込書
を入手し、必要事項を記
入の上、郵送またはメー
ル、FAXにより福島県
医師会宛てに申し込み願
いたい。

◆申込締切：11月2日
（金）。ただし、定員（2
50名）になり次第締め
切る。

◆主催：日医、日本医学
会
◆日時：11月2日（金）
午後1時～5時

◆場所：日医会館大講堂
◆参加費：無料（同時通
訳付）

◆申込方法：日医会員
は、①所属医師会名②氏
名（ふりがな）③所属機
関④医籍登録番号、一般

◆申込締切：10月25日
・「JAMA Network Open」の
目的と戦略（フレデリ
ック・リヴァラ JAMA
Network Open編集長）
・投稿論文を如何に増
やすかー JMA Journalへ
のアドバイス（マイケ
ル・バークウィッツ The
JMA Networkエレクトロ
ニック・エディター）
・「JMA Journal」発行の
目的と戦略（五十嵐隆
JMA Journal副編集長／
国立成育医療研究センタ
ー理事長）

◆主催（共催）：日医、
◆会場：郡山市 郡山商
会
◆日時：11月10日（土）
午後1時30分～4時40分

◆後援：厚生労働省他
◆参加費：無料
◆申込方法：日医ホーム
ページ（http://www.med.
or.jp/people/info-
event/seminar/005925.
html）から所定の申込書
を入手し、必要事項を記
入の上、郵送またはメー
ル、FAXにより福島県
医師会宛てに申し込み願
いたい。

◆申込締切：11月2日
（金）。ただし、定員（2
50名）になり次第締め
切る。

◆主催：日医、日本医学
会
◆日時：11月2日（金）
午後1時～5時

◆場所：日医会館大講堂
◆参加費：無料（同時通
訳付）

◆申込方法：日医会員
は、①所属医師会名②氏
名（ふりがな）③所属機
関④医籍登録番号、一般

◆申込締切：10月25日
・「JAMA Network Open」の
目的と戦略（フレデリ
ック・リヴァラ JAMA
Network Open編集長）
・投稿論文を如何に増
やすかー JMA Journalへ
のアドバイス（マイケ
ル・バークウィッツ The
JMA Networkエレクトロ
ニック・エディター）
・「JMA Journal」発行の
目的と戦略（五十嵐隆
JMA Journal副編集長／
国立成育医療研究センタ
ー理事長）

◆主催（共催）：日医、
◆会場：郡山市 郡山商
会
◆日時：11月10日（土）
午後1時30分～4時40分

◆後援：厚生労働省他
◆参加費：無料
◆申込方法：日医ホーム
ページ（http://www.med.
or.jp/people/info-
event/seminar/005925.
html）から所定の申込書
を入手し、必要事項を記
入の上、郵送またはメー
ル、FAXにより福島県
医師会宛てに申し込み願
いたい。

◆申込締切：11月2日
（金）。ただし、定員（2
50名）になり次第締め
切る。

◆主催：日医、日本医学
会
◆日時：11月2日（金）
午後1時～5時

◆場所：日医会館大講堂
◆参加費：無料（同時通
訳付）

◆申込方法：日医会員
は、①所属医師会名②氏
名（ふりがな）③所属機
関④医籍登録番号、一般

◆申込締切：10月25日
・「JAMA Network Open」の
目的と戦略（フレデリ
ック・リヴァラ JAMA
Network Open編集長）
・投稿論文を如何に増
やすかー JMA Journalへ
のアドバイス（マイケ
ル・バークウィッツ The
JMA Networkエレクトロ
ニック・エディター）
・「JMA Journal」発行の
目的と戦略（五十嵐隆
JMA Journal副編集長／
国立成育医療研究センタ
ー理事長）

◆主催（共催）：日医、
◆会場：郡山市 郡山商
会
◆日時：11月10日（土）
午後1時30分～4時40分

◆後援：厚生労働省他
◆参加費：無料
◆申込方法：日医ホーム
ページ（http://www.med.
or.jp/people/info-
event/seminar/005925.
html）から所定の申込書
を入手し、必要事項を記
入の上、郵送またはメー
ル、FAXにより福島県
医師会宛てに申し込み願
いたい。

◆申込締切：11月2日
（金）。ただし、定員（2
50名）になり次第締め
切る。

◆主催：日医、日本医学
会
◆日時：11月2日（金）
午後1時～5時

◆場所：日医会館大講堂
◆参加費：無料（同時通
訳付）

◆申込方法：日医会員
は、①所属医師会名②氏
名（ふりがな）③所属機
関④医籍登録番号、一般

◆申込締切：10月25日
・「JAMA Network Open」の
目的と戦略（フレデリ
ック・リヴァラ JAMA
Network Open編集長）
・投稿論文を如何に増
やすかー JMA Journalへ
のアドバイス（マイケ
ル・バークウィッツ The
JMA Networkエレクトロ
ニック・エディター）
・「JMA Journal」発行の
目的と戦略（五十嵐隆
JMA Journal副編集長／
国立成育医療研究センタ
ー理事長）

◆主催（共催）：日医、
◆会場：郡山市 郡山商
会
◆日時：11月10日（土）
午後1時30分～4時40分

◆後援：厚生労働省他
◆参加費：無料
◆申込方法：日医ホーム
ページ（http://www.med.
or.jp/people/info-
event/seminar/005925.
html）から所定の申込書
を入手し、必要事項を記
入の上、郵送またはメー
ル、FAXにより福島県
医師会宛てに申し込み願
いたい。

◆申込締切：11月2日
（金）。ただし、定員（2
50名）になり次第締め
切る。

◆主催：日医、日本医学
会
◆日時：11月2日（金）
午後1時～5時

◆場所：日医会館大講堂
◆参加費：無料（同時通
訳付）

◆申込方法：日医会員
は、①所属医師会名②氏
名（ふりがな）③所属機
関④医籍登録番号、一般

◆申込締切：10月25日
・「JAMA Network Open」の
目的と戦略（フレデリ
ック・リヴァラ JAMA
Network Open編集長）
・投稿論文を如何に増
やすかー JMA Journalへ
のアドバイス（マイケ
ル・バークウィッツ The
JMA Networkエレクトロ
ニック・エディター）
・「JMA Journal」発行の
目的と戦略（五十嵐隆
JMA Journal副編集長／
国立成育医療研究センタ
ー理事長）

◆主催（共催）：日医、
◆会場：郡山市 郡山商
会
◆日時：11月10日（土）
午後1時30分～4時40分

◆後援：厚生労働省他
◆参加費：無料
◆申込方法：日医ホーム
ページ（http://www.med.
or.jp/people/info-
event/seminar/005925.
html）から所定の申込書
を入手し、必要事項を記
入の上、郵送またはメー
ル、FAXにより福島県
医師会宛てに申し込み願
いたい。

◆申込締切：11月2日
（金）。ただし、定員（2
50名）になり次第締め
切る。

◆主催：日医、日本医学
会
◆日時：11月2日（金）
午後1時～5時

◆場所：日医会館大講堂
◆参加費：無料（同時通
訳付）

◆申込方法：日医会員
は、①所属医師会名②氏
名（ふりがな）③所属機
関④医籍登録番号、一般

◆申込締切：10月25日
・「JAMA Network Open」の
目的と戦略（フレデリ
ック・リヴァラ JAMA
Network Open編集長）
・投稿論文を如何に増
やすかー JMA Journalへ
のアドバイス（マイケ
ル・バークウィッツ The
JMA Networkエレクトロ
ニック・エディター）
・「JMA Journal」発行の
目的と戦略（五十嵐隆
JMA Journal副編集長／
国立成育医療研究センタ
ー理事長）

◆主催（共催）：日医、
◆会場：郡山市 郡山商
会
◆日時：11月10日（土）
午後1時30分～4時40分

◆後援：厚生労働省他
◆参加費：無料
◆申込方法：日医ホーム
ページ（http://www.med.
or.jp/people/info-
event/seminar/005925.
html）から所定の申込書
を入手し、必要事項を記
入の上、郵送またはメー
ル、FAXにより福島県
医師会宛てに申し込み願
いたい。

◆申込締切：11月2日
（金）。ただし、定員（2
50名）になり次第締め
切る。

◆主催：日医、日本医学
会
◆日時：11月